



卓上型LCD搭載 光ファイバ端面 マイクروسコープ

光ファイバ端面検査ハイパフォーマンス&自動判定 デスクトップ・マイクروسコープFVDi シリーズ

光ネットワーク障害のトラブルシューティング要因のNo.1は光ファイバ接続箇所の汚れ、そのため光ファイバの取扱は端面の清浄度を保つことが必然。

光ファイバの生産工場ならこれほど重要なことはありません。コネクタ端面検査は、製造工程におけるいくつかの段階で必須です。また、端面の受入基準として業界標準のIEC61300-3-35では、仕事の質を証明するかのように多くのメーカーをリードしてきました。

新製品FVDi卓上型LCD搭載マイクروسコープは、光ファイバ・コネクタ製造のための理想的な検査ソリューションです。それは製造・生産工程のどの段階でも、スループットを最適化するために、高い生産性の単一のシステムを提供します。FVDiにはLCDモニターが搭載されているので、FVD-2400シリーズのように常にPCに接続する必要はありません。3.5インチのタッチパネル対応LCDディスプレイにより、デバイスを制御できます。また、生産現場でのワークフローの効率を最適化するために、オートフォーカス機能を搭載したFVAiシリーズもありますが、そちらは別のカタログを参照して頂けますでしょうか。

なお、出力ポートとしてVGA外部ディスプレイ・ポートとUSBポート（排他制御）を搭載しているため、万が一搭載LCDが故障してしまった場合や、大きく端面画像を表示したいケースのために、外部VGAモニターまたはUSB2.0ポートを備えたPCに接続することができます。

スタンドアロン・デバイスとしても、外部モニター出力 またはPC USB接続でも使えます。

単体LCDモード



VGAモード

VGAモードでは、搭載LCDを操作パネルとして利用可能



VGA外部LCDモニター



キーとなるアドバンテージ

- ✦ 製造現場のスループット最適化により生産性の向上
- ✦ 端面検査のための受入基準固定によるシステムで目視検査から主観性を排除
- ✦ コンパクトな設計で貴重な机上スペースを節約できます
- ✦ PCや外部ディスプレイなしで、検査結果をデバイス上に保存可能
- ✦ IEC受入基準IEC61300-3-35 Ed1.0~3.0による判定（選択可能・編集可能）

特長

- ✦ 端面検査と判定のオールインワン・デバイス
- ✦ クラッドの自動センタリング
- ✦ 汚れと傷の個数をカウントして表示
- ✦ 自動分析と良否判定結果を表示
PASS（合格）/FAIL（不合格）
- ✦ 300個以上のコネクタ判定結果をストレージ可能
- ✦ 統合されたカラーLCDタッチ・スクリーン
- ✦ 直観的な操作が可能なGUIとアイコン
- ✦ VGAポートにより、外部モニター表示対応
- ✦ 2ポートのUSBコネクタにより、外部マイクروسコープとしてP5000iを接続可能、またUSB光パワーメータの定番MPシリーズを接続することで、光パワーの測定も可能、光パワー測定結果を端面検査レポート上に統合する機能も搭載

ワークフローの効果的な最適化により、 端面画像の保存時間の短縮

生産現場における時は金なり、第二のボトムラインとして影響を与える可能性があります。最初から品質の良い光ファイバをインフラ接続現場やさらに先の組立工場で利用されることで、製造されている光ファイバ全体の品質評価は高くなるはずですが、光ファイバ端面を検査することはもはや製造プロセスから切り離せなくなっています。

未だにアナログ・デバイスを使用している工場では、デバイス自体の重量や大きさ、あるいは消費電力などが増大している上に、アナログ・デバイスによる個体性能差や一定のトレーニングの必要性と人間の主観性や眼による性能差により、品質維持のために電気代コストと人件費が抑えられなくなっていることでしょう。

FVDi卓上型LCD搭載マイクロスコープは、高速で信頼性が高く、未経験者が操作可能であり、シームレスなシステムで最適化されたスループットとワークフローを確保するための機能を備えて、これらの課題を克服できます。

- ❖ 検査端面フェルールをヘッドの挿入口に差し込んで、挿入された端面の焦点をヘッドにあるホイールを回転させて焦点メーターの数字が100に出来るだけ近づくように調整できたら、定基準で検査し、結果を表示します。「合格」または「不合格」
- ❖ オプションのP5000i マイクロスコープを接続しておけば、パッチコードの接続先のレセ側（メス側）コネクタの検査も手元のボタンを1プッシュするだけで検査できます。
- ❖ 全自動設定では、フェルール挿入するだけでオートフォーカス、自動テスト、自動ファイル名設定を含め、様々なワークフロー・オプションから選択してアクティブ化するだけで、自動化プロセスのレベルを取捨選択し、テスト後に自動保存まで設定可能。
- ❖ テストのグループ機能には更に先進的な機能があります。USBポートに接続されたUSB光パワーメータのデータを端面検査後に統合してレポートに表示する機能です。光ファイバ・ケーブルとLASERを送信するデバイスを含めて検査できます。端面検査の合格後に光パワーデバイスからのロス測定することで、ケーブルの認証だけでなく、光損失のパワーレベルも含めて検査できるようになっています。

直観的なタッチ操作が可能



- アイコン表示
- タッチ・スクリーン・インターフェース
- マルチランゲージ対応
- ❖ VGA表示中は操作用になりません
- ❖ 時計内蔵
- ❖ VGA出力解像度640×480ピクセル
- ❖ AC電源アダプタによる給電

- ❖ 内蔵ストレージ300件+（低倍・高倍率静止画保存&判定データ/1件）
- ❖ 外部追加オプションUSBデバイス用ポート×2ポート搭載

追加オプションUSBデバイス



FBP-P5000i：デジタル端面検査マイクロスコープ着脱変更可能な検査Tipにより、様々な光コネクタ（レセブタクル/メス側）に対応し、端面の検査&良否判定を行うことができます。



MP-60：USB接続の光パワーメータで、760~1650nmの範囲で校正波長1nm単位で設定・測定可能な手の平サイズのUSBパワーメータ。MP-60は最大+10dBmまで測定可能、MP-80は+23dBmまで。

FVDi オーダー情報

製品構成	製品型番
FVDi 高倍/低倍 デュアル倍率	FVDi-2400
FVDi 高倍/低倍 デュアル倍率、LWD (MPO™ガイドピンが挿入可能)	FVDi-2400-L

高倍率/低倍率のイメージの見え方イメージ一覧 (125μmクラッドを想定) ※実際はモノクロ映像です。



Viaviソリューションズ株式会社
〒163-1107 東京都新宿区西新宿6-22-1
新宿スクエアタワー7F
<http://www.viavisolutions.com/ja>

VI.VI

当社は日本国内向け二次販売店です。本カタログに記載の製造元ベンダー名はViavi Solutions社です。正規輸入一次代理店から購入し、再販を行っております際には当社独自作成の日本語マニュアルを添付して販売しています。

PSI 株式会社ピーエスアイ

support@psi.co.jp

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3 建成新宿ビル4F Tel: 03-3357-9980 / Fax: 03-5360-4488

大阪営業所 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-4 KDX新大阪ビル9F Tel: 06-6151-4034 / Fax: 06-6151-4035

福岡営業所 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-4-5 ビエトロビル4F Tel: 092-731-1238

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目9-27 NMF名古屋伏見ビル8F-A Tel: 052-217-8810

お問い合わせ先